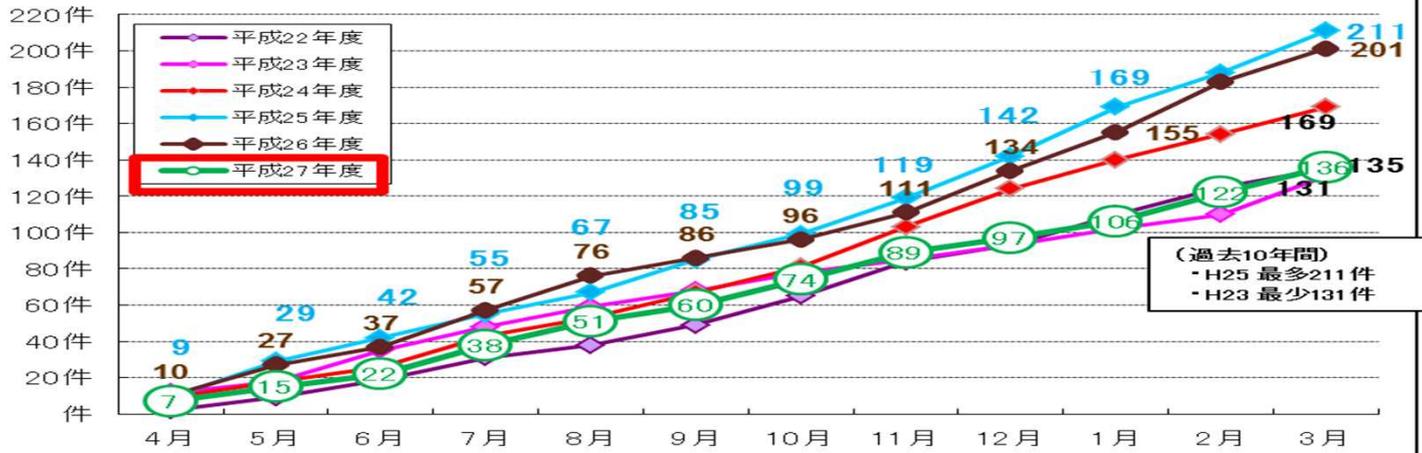


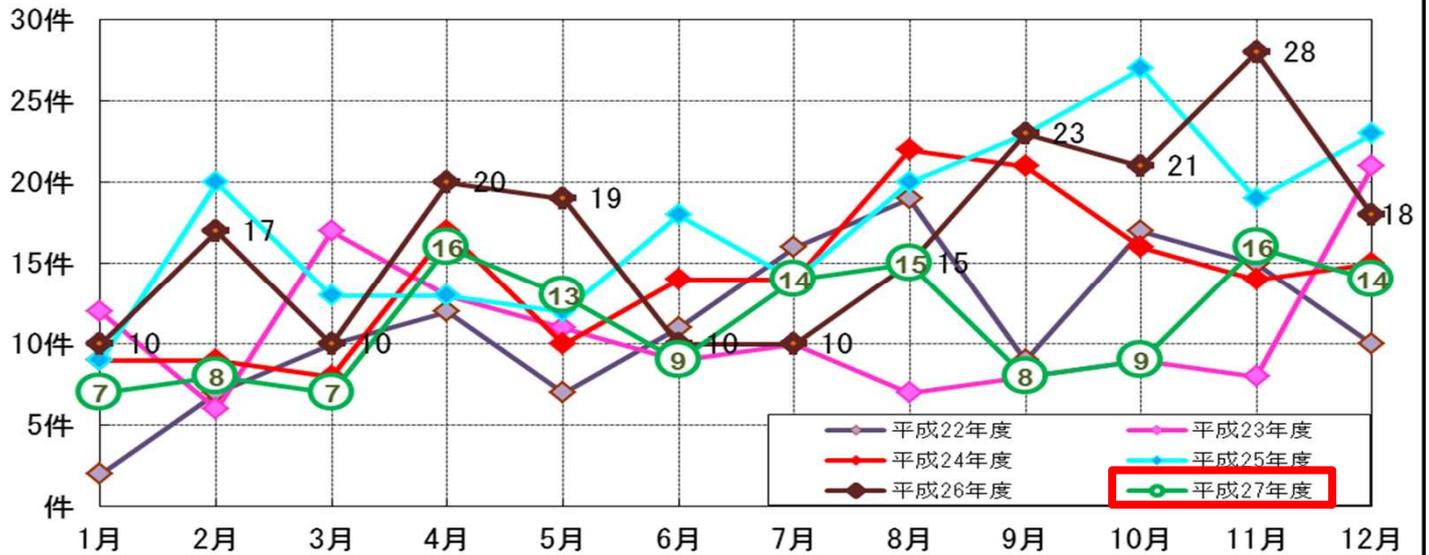
平成27年度直轄工事等の事故発生状況について



平成27年度の事故件数は136件※で、昨年度の201件より65件減少しました。これも偏に工事関係者の皆様の日々の事故防止に対する取組みの成果だと思えます。しかし、減ったからといって油断はできません。この136件の中には死亡事故も2件含まれています。総数は減りましたが、一歩間違えば、死亡事故になりかねない事故も多数発生しています。

また、平成28年度も年度初めに死亡事故が発生しています。今一度、安全に対する意識を高め、事故防止に努めてください。

※措置が確定しているもののみであるため、暫定値となっています。



月別グラフで見れば、ほぼ毎月、昨年度を下回っています。7月のみ前年度を4件上回っていますが、一年を通じてみると減少していますが、毎月コンスタントに事故が発生しています。また、新年度に入ってから事故が多発しています。今のところ小さな事故が多いですが、いずれ大きな事故につながる恐れがありますので、入念な安全教育、丁寧な作業を行うようお願いいたします。

事故は本当にいつ起こるかわかりません。さまざまな事が重なり事故が起こります。事故を起こしてしまうと、今まで努力してきたことが、報われなくなります。これ以上、事故を増やさないようにして下さい。

また、もらい事故も多発しております。もらい事故は工事機材を巻き込んだり、工事関係者を巻き込んだりします。工事事故だけでなく、もらい事故でも一歩間違えば重大な事故につながる恐れがありますので、一層の注意を払って下さい。



十分な予防対策で熱中症を防止しましょう！！

熱中症とは……？

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による労働災害を防ぎましょう。

● 熱中症の症状と分類

- I 度 ・めまい・失神 （「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、“熱失神”と呼ぶこともある。）
 - ・筋肉痛・筋肉の硬直 （筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴う。発汗に伴う塩分（ナトリウム等）の欠乏により生じる。これを“熱痙攣”と呼ぶこともある。）
- II 度 ・頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 （体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から“熱疲労”といわれていた状態である。）
- III 度 ・意識障害・痙攣・手足の運動障害 （呼びかけや刺激への反応がおかしい、体がガクガクと引きつけがある、真直ぐに走れない・歩けないなど。）
 - ・高体温 （体に触ると熱いという感触がある。従来から“熱射病”や“重度の日射病”と言われていたものがこれに相当する。）

熱中症対策

～ 熱中症の予防 ～

- ◎ 熱中症が多発しそうな気象条件を把握する。
- ◎ 熱中症の予防や救急処置についての教育を行う。
- ◎ 熱中症注意喚起表示装置（表示版）の設置
- ◎ 日よけの設置や通風をよくするための設備（送風機等）を設置する。
- ◎ 通気性のよい衣服や冷却機能付きベスト（電動ファン内臓タイプ、水の気化熱利用タイプ等）の着用
- ◎ 水分と塩分を定期的に十分補給する。（塩分補給用飴やスポーツドリンク、経口保水液の配備）
- ◎ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどを活用する。
- ◎ 休憩所の設備の充実（冷房設備・ミスト付き扇風機等）
- ◎ 朝礼・終礼による体調チェックの実施



～ もしも熱中症が疑われる症状が現れたら ～

- ◎ 熱中症の初期症状が現れた段階で作業から離脱させる。
 - ◎ 涼しい場所に連れて行き、衣服をゆるめ、安静にさせ、体温を下げる。
 - ◎ 自力で水分が取れるようであれば、スポーツ飲料、経口保水液などを飲ませる。
 - ◎ 首、脇、足の付け根の太く大きな血管がある箇所を氷水等で冷やす。
 - ◎ 医療機関に搬送する。
- ※症状が軽いからといって、現場休憩をしていると、後で症状が悪化して手遅れになることがあります。躊躇せずに救急車を呼び、早めに医療機関にて受診してください。）

平成28年度全国安全週間



主唱者 厚生労働省 中央労働災害防止協会

期間 平成28年7月1日～7月7日



〈平成28年度「全国安全週間」スローガン〉

～見えますか？あなたのまわりの見えない危険
みんなで見つける 安全管理～

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000122820.html>